



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 仙波糖化工業株式会社

コード番号 2916 URL <https://www.sembatohka.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）小林 光夫

問合せ先責任者（役職名）取締役財務本部長兼
営業管理本部長（氏名）田中 明子 TEL 0285-82-2171

半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	9,594	3.6	421	40.7	272	△32.6	164	△37.1
2025年3月期中間期	9,257	△2.0	299	15.3	405	4.9	261	△13.9

（注）包括利益 2026年3月期中間期 466百万円（86.9%） 2025年3月期中間期 249百万円（△53.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	14.45	—
2025年3月期中間期	22.98	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	20,759	12,154	58.5
2025年3月期	20,660	11,858	57.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 12,141百万円 2025年3月期 11,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	19,700	5.3	900	19.1	820	0.5	520	62.7

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) 上海永仙研食品有限公司、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	11,400,000株	2025年3月期	11,400,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	16,408株	2025年3月期	16,408株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	11,383,592株	2025年3月期中間期	11,383,616株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、継続的な所得環境の改善に伴い緩やかに回復しているものの、原材料価格の高止まり、物流コストや人件費の増加、米国の通商政策の動向など先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、インバウンド需要の増加により外食需要が堅調に推移しているものの、物価の継続的な上昇に伴い、家計面では節約志向が強まっており、引き続き厳しい経営環境にあります。

このような状況下、当社グループは、全社を挙げて顧客ニーズに合わせた新製品・高付加価値製品の開発強化を進める一方で、海外戦略の見直しを実施しました。

その結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は95億94百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

製品の種別別売上高では、カaramel製品は、ベトナム子会社の販売が増加となった一方、国内デザート飲料向け製品の減少により、21億99百万円（前年同期比1.0%減）となりました。乾燥製品類は、粉末茶需要の回復や粉末調味料類が堅調に推移し、35億11百万円（前年同期比4.2%増）となりました。組立製品類は、ヘルスケア関連製品であるスポーツサプリの受託加工に回復の兆しがみられ、16億19百万円（前年同期比7.8%増）となりました。冷凍製品は、中国子会社の持分法適用会社化に伴う減少があったものの、冷凍山芋の新製品効果もあり、16億64百万円（前年同期比2.0%増）となりました。その他は、子会社の受託加工売上高が増加し、5億98百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

利益面につきましては、増収効果や生産性の改善と経費削減を進め、営業利益は4億21百万円（前年同期比40.7%増）となったものの、円高に伴い海外子会社で為替差損が発生したことなどにより、経常利益は2億72百万円（前年同期比32.6%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は1億64百万円（前年同期比37.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、110億49百万円（前連結会計年度末は111億73百万円）となり1億24百万円減少しました。その主なものは、原材料及び貯蔵品の減少（1億11百万円）であります。

（固定資産）

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、97億10百万円（前連結会計年度末は94億86百万円）となり2億23百万円増加しました。その主なものは、投資有価証券の増加（5億8百万円）、建物及び構築物（純額）の減少（1億28百万円）であります。

（流動負債）

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、64億7百万円（前連結会計年度末は66億82百万円）となり2億74百万円減少しました。その主なものは、その他の減少（95百万円）、支払手形及び買掛金の減少（64百万円）であります。

（固定負債）

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、21億97百万円（前連結会計年度末は21億20百万円）となり77百万円増加しました。その主なものは、繰延税金負債の増加（1億61百万円）、長期借入金の減少（1億16百万円）であります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、121億54百万円（前連結会計年度末は118億58百万円）となり2億95百万円増加しました。その主なものは、その他有価証券評価差額金の増加（3億44百万円）であります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して90百万円減少し、29億25百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は5億29百万円（前年同期は2億93百万円の獲得）となりました。

これは、減価償却費3億79百万円、税金等調整前中間純利益2億72百万円、売上債権の増加額2億17百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億52百万円（前年同期は6億58百万円の使用）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出2億53百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億44百万円（前年同期は1億46百万円の使用）となりました。

これは、配当金の支払額1億70百万円、長期借入金の返済による支出1億51百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を勘案し、2025年5月13日に公表いたしました2026年3月期の連結業績予想は、本日（2025年11月14日）発表のとおり修正を行っております。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、同日発表の「第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,081,470	2,990,945
受取手形及び売掛金	4,136,875	4,352,858
電子記録債権	20,460	35,115
商品及び製品	2,363,973	2,267,197
仕掛品	554,164	482,760
原材料及び貯蔵品	861,625	749,815
その他	157,244	172,500
貸倒引当金	△1,842	△1,845
流動資産合計	11,173,971	11,049,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,648,115	2,519,475
機械装置及び運搬具(純額)	1,609,343	1,585,420
その他(純額)	812,181	800,256
有形固定資産合計	5,069,640	4,905,153
無形固定資産	550,994	468,505
投資その他の資産		
投資有価証券	2,789,526	3,297,529
繰延税金資産	244,553	243,255
その他	832,164	801,515
貸倒引当金	—	△5,573
投資その他の資産合計	3,866,244	4,336,728
固定資産合計	9,486,879	9,710,387
資産合計	20,660,851	20,759,734

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,073,608	2,008,829
電子記録債務	131,154	123,712
短期借入金	2,898,306	2,863,154
未払法人税等	167,194	120,566
賞与引当金	344,868	337,351
役員賞与引当金	17,500	—
その他	1,049,448	954,037
流動負債合計	6,682,080	6,407,651
固定負債		
長期借入金	572,636	456,621
退職給付に係る負債	1,278,190	1,318,084
繰延税金負債	78,928	240,524
資産除去債務	49,027	49,033
その他	141,694	133,646
固定負債合計	2,120,477	2,197,909
負債合計	8,802,558	8,605,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,500	1,500,500
資本剰余金	1,203,109	1,203,109
利益剰余金	7,368,931	7,362,636
自己株式	△5,318	△5,318
株主資本合計	10,067,222	10,060,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,573,900	1,918,053
為替換算調整勘定	235,412	191,563
退職給付に係る調整累計額	△31,767	△28,897
その他の包括利益累計額合計	1,777,545	2,080,720
非支配株主持分	13,525	12,526
純資産合計	11,858,292	12,154,174
負債純資産合計	20,660,851	20,759,734

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	9,257,127	9,594,016
売上原価	7,235,933	7,459,451
売上総利益	2,021,193	2,134,564
販売費及び一般管理費	1,721,848	1,713,393
営業利益	299,344	421,170
営業外収益		
受取利息	2,922	1,981
受取配当金	36,375	39,545
為替差益	99,883	—
補助金収入	2,709	39
その他	16,726	17,372
営業外収益合計	158,616	58,938
営業外費用		
支払利息	24,232	19,618
持分法による投資損失	8,860	2,112
為替差損	—	156,763
その他	19,814	28,641
営業外費用合計	52,907	207,135
経常利益	405,053	272,973
特別利益		
投資有価証券売却益	23,285	—
特別利益合計	23,285	—
特別損失		
投資有価証券売却損	428	—
関係会社出資金売却損	16,642	—
特別損失合計	17,071	—
税金等調整前中間純利益	411,267	272,973
法人税、住民税及び事業税	154,108	103,942
法人税等調整額	△13,582	4,165
法人税等合計	140,525	108,108
中間純利益	270,741	164,864
非支配株主に帰属する中間純利益	9,091	406
親会社株主に帰属する中間純利益	261,650	164,458

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	270,741	164,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,813	344,153
為替換算調整勘定	△3,183	△17,257
退職給付に係る調整額	2,657	2,870
持分法適用会社に対する持分相当額	24,240	△27,996
その他の包括利益合計	△21,099	301,770
中間包括利益	249,642	466,634
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	202,765	467,633
非支配株主に係る中間包括利益	46,877	△998

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	411,267	272,973
減価償却費	416,548	379,011
貸倒引当金の増減額(△は減少)	572	5,651
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,281	△7,516
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,040	△17,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	33,033	44,087
受取利息及び受取配当金	△39,297	△41,527
支払利息	24,232	19,618
為替差損益(△は益)	779	△119
固定資産除却損	8,823	6,334
持分法による投資損益(△は益)	8,860	2,112
投資有価証券売却損益(△は益)	△22,856	—
関係会社出資金売却損益(△は益)	16,642	—
売上債権の増減額(△は増加)	444,480	△217,371
棚卸資産の増減額(△は増加)	61,914	266,834
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△5,529	△29,407
仕入債務の増減額(△は減少)	△536,372	△89,887
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△213,367	△86,922
その他	△129,611	148,061
小計	452,362	654,433
利息及び配当金の受取額	39,300	41,529
利息の支払額	△24,869	△19,494
法人税等の還付額	3,149	507
法人税等の支払額	△175,950	△147,708
営業活動によるキャッシュ・フロー	293,991	529,267

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,000	△5,000
定期預金の払戻による収入	5,000	5,000
有形固定資産の取得による支出	△142,744	△253,069
無形固定資産の取得による支出	—	△1,727
投資有価証券の取得による支出	△5,998	△6,450
投資有価証券の売却による収入	44,865	—
有形固定資産の除却による支出	△5,507	△2,964
貸付けによる支出	△2,000	△1,450
貸付金の回収による収入	6,263	13,820
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による支出	△552,555	—
その他の支出	△692	△595
その他の収入	307	219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△658,063	△252,216
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	206,300	—
長期借入金の返済による支出	△160,138	△151,167
リース債務の返済による支出	△21,970	△22,965
配当金の支払額	△170,476	△170,705
財務活動によるキャッシュ・フロー	△146,286	△344,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	53,990	△22,737
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△456,368	△90,524
現金及び現金同等物の期首残高	3,434,207	3,016,470
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,977,839	2,925,945

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食品製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の増資)

当社は、2025年10月17日開催の取締役会において、当社の完全子会社である SEMBA TOHKA VIETNAM CO.,LTD（以下、STVCという。）が増資を行い、その全額を当社が引き受けることを決議いたしました。本増資によりSTVCの資本金が当社資本金額の100分の10以上に相当し、当社の特定子会社に該当することとなります。

1. 本増資の理由

連結子会社STVCは、食品・食品素材及び食品添加物等の製造販売を行っております。STVCは経営基盤や体制強化、生産能力の増強を目的として、増資を行うことを決定いたしました。

2. 対象会社の概要

(1)	名称	SEMBA TOHKA VIETNAM CO.,LTD		
(2)	所在地	ベトナム　ドンナイ省		
(3)	代表者の役職・氏名	General Director　保坂晴彦		
(4)	事業内容	食品・食品素材及び食品添加物等の製造販売		
(5)	増資前の資本金	1,327千米ドル		
(6)	設立年月日	2019年3月5日		
(7)	大株主及び出資比率	仙波糖化工業株式会社　100%		
(8)	上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社　100%	
		人的関係	当社の取締役が当該会社の取締役として兼務しております。また、当社の従業員が出向しております。	
		取引関係	STVCが製造している製品を一部仕入れております。	
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態（単位：千ドン）			
	決算期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
	純資産	24,442,967	28,539,045	25,475,539
	総資産	268,282,329	288,506,318	259,982,956
	売上高	18,488,591	39,153,740	50,838,456
	当期純利益	1,410,444	4,096,077	△3,063,505

3. 本増資の概要

(1)	増資金額	2,280千米ドル
(2)	増資後資本金	3,607千米ドル
(3)	増資後の出資比率	仙波糖化工業株式会社 100%

4. 払込実行日

2025年10月31日

5. 今後の見通し

本件による当社の2026年3月期連結業績への影響は軽微なものと考えております。しかしながら、当社業績への影響が発生する場合には、速やかにお知らせいたします。